

● 今日の目標

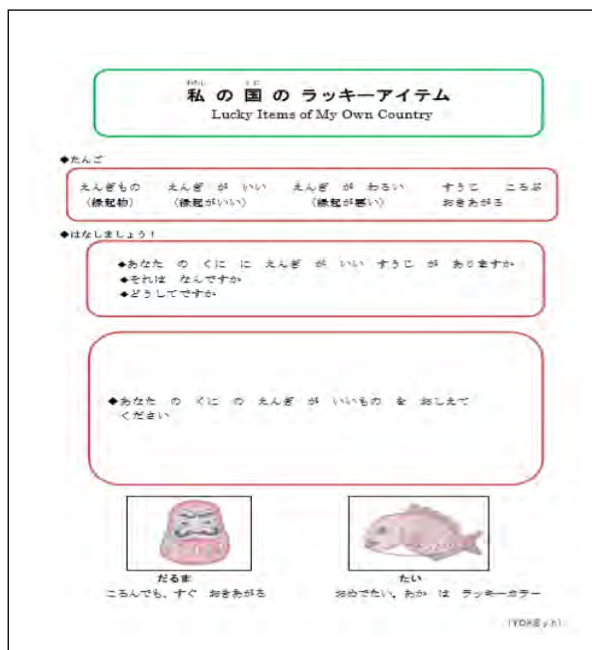
ラッキーアイテムを通して自国紹介をするとともに、グループメンバーそれぞれのお国柄・文化を共有する。

グループB：ラーメン
特に「積極性」の高いグループ

● 活動の進め方

初めに「縁起物」の意味を理解し、学習者が質問しサポーターが答えることで活動のイメージを持ったのちに、学習者の発話につなげていく。

● ワークシート（原寸大 p26 参照）



● 活動の流れ・ポイント

1. 学習する主な単語を確認します。漢字圏の学習者には、漢字があると理解しやすいです。
2. 学習者がサポーターに質問します。Q 縁起のいい数字がありますか／それは何ですか／どうしてですか
3. 学習者は同じ質問をチェーンドリル形式（答えた人が次の人に質問）で話していきます。
4. トピックを「縁起物（ラッキーアイテム）」に変えて、学習者がサポーターに質問します。
Q：縁起物がありますか／それは何ですか／エピソードを教えてください
5. 学習者が自分の話したい事をメモする時間をとります。サポーターと共に、単語や表現を探します。
6. 学習者が順に発表します。発表後学習者間で、自然に QA できるようにします。

● 活動で工夫したこと

学習者が言いたいことばが見つからない時は、スマホの辞書等を活用したり、サポーターとの QA を進めることで、新しい表現を学びます。

● 担当した日本語サポーターから

縁起のいい数字からスタートしたところ、学習者に「縁起物」のイメージが付き易くなりました。また、グループ内の国籍が違ったので、それぞれのお国柄がわかり興味深かったです。学習者の言いたいことを、QA を通じ、共に探す作業は有意義でした。「縁起のいい」から「縁起の悪い」数字・物 に、自然と話が広がりました。